

令和 6 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立豊里南小学校学校協議会

1 総括についての評価

学習発表会を開催し保護者の方の参観も多くあり、学年によっては総合や生活科で児童自ら取り組んだ内容の発表ができてよかった。

経年調査の結果についてはほとんどが大阪市平均を下回るものだったが、6年生の算数については平均を上回った。また質問紙見られる「家庭学習ができていない」「テレビやゲームの時間が多い」「寝るのが遅いが睡眠時間は長い」といった傾向に対して対策が必要である。

6年生の「学校をよくしよう」の取り組みの池のセレモニーや、SDGsの取り組みでの梅ジュースと一緒に作った様子など学校外の地域にも広げた活動が盛んになってきてよかった。

習熟度別学習や少人数指導を行ってきた成果が出ている。学年が上がるごとに自立して学習に取り組むといった姿があるのがこの学校の特徴のように感じる。家庭学習が定着するまではもう少し時間がかかりそう。テレビやゲームの時間の持ち方を家庭教育でも浸透させられるとよいと思うが、どのように啓発していくのがよいか検討していく。

全体を通しての総括は概ね妥当である。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

【安全・安心な教育の推進】

「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は 89%であり昨年度を上回った。昨年度よりも運動場や遊びの広場を活用できるようになったり、放課後も毎日遊べるようになったりして、友達と過ごす時間や居場所ができたことが大きいと思われる。

不登校児童の在籍比率は、昨年度が 8%で今年度は 13%で在席比率は増加している。内容を見ると、以前は全く不登校の状態だった児童が登校できる日が増えてきたケースもある。粘り強く諸機関と連携して取り組みを続けてほしい。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

「学校のきまりを守っていますか」を肯定的に回答する児童の割合は 81.3%で目標の 90%を達成できなかった。深刻な逸脱行為は起きていない。時間を守ることや廊下の右側歩行ができていないことが、肯定的に回答できない子が多い理由と思われる。規範意識を高めながら、寛容な気持ちも育てていく教育活動を心がけてほしい。

「自分からすすんであいさつをしていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は 74%で目標を上回った。全校朝会での校長先生の話や、児童会活動での校門での挨拶活動、挨拶週間でのあいさつの木などの取り組み、見守り隊の方々との関わりなどの影響が大きかったと考える。今後も気持ちいいあいさつが広がるように取り組みを続けてほしい。

【学びを支える教育環境の充実】

「読書は好きですか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合は 59%であり、目標の 40%を超えることができた。

教室に今月の読書冊数を掲示する取り組みを行ったり、クラスごとに 20 冊の図書を借りられる制度を活用したりするなど、各学年で本を読む習慣を促進する取り組みを行った。また、11 月に実施した「読書週間」では、読書記録をタブレットで記録することで友達のを参照できるようにし、読書に対する意欲を高めることができた。タブレットで「ひみつシリーズ」が読めるよう

になったことは、読書するきっかけの一つになった。

児童の読解力育成のためや情操教育のためにも、読書が盛んになるように取り組みを続けてほしい。

3 今後の学校園の運営についての意見

最終評価の結果を見ると、今年度の方策について十分に協議され、次年度への改善点や継続して取り組むことが示されている。教職員が新しい取り組みや急な対応にも柔軟に方向性を同じにして指導にあたっているので、今後もその成果を期待する。学級数も少なくなっているため、よりきめ細かな指導を継続してほしい。また、保護者・地域と連携して教育活動を行うことで、さらに成果をあげてほしい。